



コミュニティ・スクール

雄踏中 CS 通信

令和7年 10月 30日
第2号
浜松市立雄踏中学校

10月22日(水)に第3回学校運営協議会を行いました。今回は、「雄踏の未来と今」というテーマで熟議を行いました。生徒会役員の生徒たちも参加し、子供たちの生の声を聴いていただきました。また、「部活動の地域連携」に関する熟議も行いました。その一部についてお伝えします。

【 第3回学校運営協議会 】10月22日(水)

1 雄踏の未来と今



生徒会役員4名が、これまでの生き方学習について説明したうえで、「30年後の雄踏がどうあってほしいか」「そのような雄踏であるためにはどのようなことが必要か」「自分たちは将来に向けてどのような力をつけたり経験したりすることが必要か」について話し合いました。

生徒たちからは「地元を離れて帰ってきたとき『雄踏だなあ』と思える今と変わらない町」「都会と田舎を両立した住みやすい町」「人の温かみが実感できる町」であってほしいという意見が多く挙がりました。学校運営協議会委員の皆様は、雄踏が発展してほしいと中学生は願っているのではないかと予想されていましたが、そのような中学生の意見を聞き、感慨深い様子でした。



2 授業参観

学活の授業を公開しました。体育大会や期末テストが近いので、1年生はテスト計画、2年生は体育大会の学年種目の練習、3年生は体育大会のスタンツ練習を行っていました。3年生がスタンツの内容を考えて1・2年生を指導していくため、どのクラスも熱心に計画を立てていました。



3 職場体験活動報告

2年生は、9月10・11日で職場体験を行いました。生徒たちが持続可能な社会の作り手となるためには「雄踏中学校でどのような力をつけていくべきか」について、実体験を通して考えを深めたようです。



4 「防災について考える日」についての活動報告

1年生は、10月17日に防災体験を行いました。水消火器訓練、応急処置訓練、炊き出し訓練、防災ゲーム等を行いました。有事の際、大人や高校生は雄踏を離れている可能性が高く、地域で一番活躍するのは中学生かもしれません。様々な知識を身に付け、将来に生かしてほしいと思います。また、自分たちで作った新聞紙の器で、炊き出しカレーをおいしくいただきました。

